

「神奈川力構想・白書」について

1 考え方

平成22年度は「神奈川力構想・実施計画」の最終年度となっているため、政策のマネジメント・サイクルとして、実施計画の総合的な点検を行い、総合計画審議会で審議するとともに、県民からの意見募集や市町村への意見照会を行った上で、「点検報告書」として取りまとめて公表した。

一方、政策のマネジメント・サイクルでは、毎年度、戦略プロジェクトの目標の達成状況や事業の進捗状況などについて取りまとめた「白書」を公表しているところである。しかし、既に、「点検報告書」において、2010年度を含めた4年間の目標の達成状況、事業の進捗状況や成果などについて、県民等の意見も聴いた上で点検が実施されており、「白書2010」を作成した場合は内容が重複するものを作成することになることから、重複を避けるため「白書2010」は作成しない。

なお、「点検報告書」発行時点（平成23年3月）で、2010年度の目標の達成状況について実績を把握できたものは78のうち実績見込みも含め58項目であった（このうち実績が確定している項目は13）。今後、追加で実績を把握し目標に対する達成状況をホームページで公表する。

2 公表の方法

2010年度の目標の達成状況については、四半期ごとに実績を把握しホームページで公表する。

【公表時期】

- ・～H23年度第1四半期把握分：H23年6月公表済み（参考資料6を参照）
- ・ H23年度第2四半期把握分：H23年10月公表
- ・ H23年度第3四半期把握分：H24年1月公表
- ・ H23年度第4四半期把握分：H24年5月公表

【政策のマネジメント・サイクル】

平成19年7月に策定した「神奈川力構想・実施計画」では、計画の着実な推進を図るため、政策評価を総合的に実施し、評価結果に基づいて政策の改善を図る、政策のマネジメント・サイクルを確立することとした。

政策のマネジメント・サイクルでは、毎年度のサイクルとして、年度終了後、戦略プロジェクトの目標の達成状況や事業の進捗状況などについて、県としての一次評価（自己評価）を行い、総合計画審議会で一次評価に対する二次評価（第三者評価）を行ったうえで、「白書」として取りまとめて公表し、県民等から寄せられた計画に対する意見・提案を施策等へ反映するとともに、評価の結果を翌年度以降の政策運営に反映することとしている。

また、4年間のサイクルとして、実施計画の最終年度において政策全般の点検を行い、必要に応じて、戦略プロジェクトの見直しを行うこととし、その成果は、次期「実施計画」の策定に生かすこととしている。